

【News】 今年の映画祭の開催につきまして

今年の映画祭の開催につきまして、報告いたします。

8月2日、本映画祭のプログラムディレクターのひとりが、下記の問題で辞任いたしました。亡くなられた方のご冥福を、改めてお祈りいたします。

(参考) 2023.08.02

[本映画祭プログラムディレクターに関する問題の対応について](#)

その後、今年の映画祭の開催につきましては一旦白紙とし、現行スタッフ間で討議し、劇場や後援団体とも協議を重ねてまいりましたが、既に皆様の応募作品をお預かりしており、公的助成をいただくなど、社会的な責務が発生していること、現在のメンバーに新たな問題行為は認められなかったことから、劇場・後援団体の承認を得て、以下の日程で開催を決定することといたしました。

「東京ドキュメンタリー映画祭2023」2023年12月9日(土) - 22日(金)

開催劇場：新宿ケイズシネマ

ただし開催にあたっては、スタッフ一同、今回問われた事態を重く受け止め、映画祭の果たせる責任とは何かを熟慮のうえ、以下の取組を実施しています。

1) 本映画祭は、あらゆる性暴力やハラスメントを認めないことを、あらためて宣言します。

- ・スタッフ間で議論し、策定した今後の運営方針を「運営指針」として明文化し、サイト内「映画祭について」欄に掲載いたします。

2) 今回の問題を受け、映画祭として以下の取り組みを実施しています。

- ・事態の発覚が選考期間中だったため、出品作家に対し状況やステートメントを随時報告し、参加持続の意志を確認いたしました。その結果、辞退を申し出る応募者が数名いらっしゃいました。
- ・過去の映画祭において、性暴力やハラスメントや繋がる問題行動がなかったか、現行スタッフに聞き取り調査を行いました。結果、スタッフ間にこうした事実は認められませんでした。
- ・今回の問題を受けた組織の対応や今後の運営指針について、社労士に相談いたしました。トークセッション的プログラムの実施(後述)や、スタッフによるハラスメント防止の研修の受講、第三者の視点による安全な運営の担保を提言され、順次、実施する予定です。
- ・体制に関して、本年はプログラムディレクターの新たな就任などはせず、現行スタッフの連名による「映画祭実行委員会」方式とし、今後については今年の映画祭実施後、改めて考えることとします。

3) 今年の映画祭で、性暴力やハラスメントを考える特集プログラムを実施します。

- ・今年の映画祭初日(12/9)におきまして、今回の問題に関連する内容の作品上映と、ハラスメントを

生じさせない映画の現場（映画祭を含む）あり方をテーマとしたトークセッションを実施します。
内容の詳細に関しましては、追って本サイトで発表いたしますので、そちらをご覧ください。

2023年10月25日
東京ドキュメンタリー映画祭
佐藤寛朗
澤山恵次
津留崎麻子
若林良
吉田悠樹彦
田淵絵美
井河澤智子
竹田史佳